

### 1. 本園の教育保育目標

保護者の協力を得て、多くの良質な体験を通して自信を持たせ、園児個々の成長目標を達成する

- ・心情(Feeling)の豊かな子ども…「感情表出」「愛情」「他への理解」「申告意欲」「試行意欲」「連帯意欲」「正義感」
- ・態度(Manner)の良い子ども…「挨拶」「謝罪」「感謝」「懇願」「自己責任」「選択責任」「勝者の義務」
- ・自主的に行動(Behavior)できる子ども…「規律遵守」「忍耐」「勇気」「責任感」「委任追従」「自己主張」「自己顕示」
- ・個性(Identity)豊かな子ども…「演出表現」「演技」「言語」「心情表出」  
 「絵画制作」「興味・関心」「集中・熱中」「創造・想像」
- ・健康(Health)な子ども…「運動・体力」「走・跳・投」「泳・潜」「持久意欲」

### 2. 今年度、重点的に取り組む目標、計画

- ①担任がクラスの子どもの個性・特性を理解して適切な対応策を考え教育・保育する。共に保護者対応力の向上を目指す
- ②職員が個人目標を掲げ、他者に公表する事で達成度を向上させる
- ③乳児保育室の環境設定、子どもの生活しやすい導線をより充実させる

### 3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目(課題)	取り組み状況
① 担任として担当のお子さまに必要なタイミングで適切な対応が出来る人材育成。 保護者と共有していける様、対応力、伝え方を身に付ける。	保護者に寄り添い、保護者目線でお子さまの成長、発達に目を向けて対応できている
② 目標を全員が知って認め合い、またお互いが良き刺激になれる様にする。	他者評価を行う事で、自分自身を見つめなおす事ができた
③ 乳児保育の環境設定を整えて、個々の特性を理解して家庭と連携を取る	他園に視察へ行ったり、研修に行くことで視野が広がり、保育環境がよくなった

#### 4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

子ども一人ひとりの個性、特性を理解し、適切な関わりをして、必要に応じて保護者へ伝え連携が取れている。そうすることでお子さまが安心して園生活を送れ、成長域が広がっていると感じる。また、職員が目標を立ててそれをクラス職員全員で評価し合い、認め合って向上できているので、引き続き継続していきたい。

#### 5. 今後取り組むべき課題(次年度へむけて)

課題		具体的な取り組み方法
①	クラス内で行っている勉強会の内容がクラス以外に周知する機会が少ない	全員で集まる機会(職員会議など)において、良い取り組みや、研究結果を発表し合う場を定例化する
②	自主的な挨拶、自主的な言葉での主張や説明が苦手な子どもがいる	全園あげて、職員が今まで以上の挨拶強化、言葉での主張の手本となる様にしていく
③	入園前のお子さまに、今必要な関わりや家庭内でしてもらいたい事を伝える機会がない	未就園児とその保護者が安心して子育てをし、必要な関わりや手立てをスマートにお知らせできる場を増やしていく
④		

#### 6. 学校関係者の評価

令和5年度は金利のある世界、物価高、人手不足、超円安などが象徴するように、これまでの日本社会の転換点として位置づけられるような歴史的な変化が起きた一年であった。当法人の経営に対してはそのような社会経済環境の激変が大変大きな逆風ではあったが、前例踏襲、横並び、行政からの指示待ちという悪い慣行をかねてから排除して、自らが社会に評価されるように努めることを理事長が長年、推進して行動指針とされてきた成果が大いに発揮されたとも言えることのできる一年であったと総評できる。

当法人は傘下の施設間の人材交流やアワードバンケットに象徴される保育・幼児教育の研究開発・技術革新に注力し活発化することを通して、逆風下にあっても日本社会、保護者の方々、お子様に必要とされる保育・幼児教育への投資や研鑽を片時も止めることが無かった。更に、保育教諭・保育士・幼稚園教諭・栄養士・調理師・看護師・公認心理士、臨床心理士などが施設の壁を越えて連携できていることで、保護者の方々やお子様にとって必要な保育・教育の価値を提供できるサプライチェーンが切れ目なく整えられていることは当法人の強みであったと評価できる。

これらのことが今後も継続し、尚且つ発展的に展開していけるようにするためには人材の獲得と育成が大切であり、法人としては本年度も資源配分の多くを人に向ける努力をされたことは称賛に値する。

人材こそが価値創造の源泉であるとの思いから、物価高や少子化といった収益環境の悪い中にあっても当法人として将来不安をなくすための健全性の確保には、理事会・評議会も現場の方々に寄り添いながら協力して努めてまいりたいと考えている。

令和6年3月26日 理事会・評議会